

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	①児童の主体的な学びの実現のために様々な手立てを工夫した結果、児童が主体的に考えを表出できるようになり、学力が着実に向上している。今後、児童の「書く力」を一層向上させるために、校内研での共通した取組を一層充実させる。 ②「ひがしっ子」の合言葉が、児童・職員・保護者に浸透し、連携して児童の運動習慣や生活習慣を向上させている。今後、「ひがしっ子」の合言葉が地域に一層浸透するよう、情報発信に努める。 ③キャリア教育推進のためにキャリアパスポートを継続的に活用し、自己有用感が高まり、夢や目標に対する児童の意識は向上している。今後、家庭と協働したキャリア教育の工夫や保護者への説明の充実に努める。 ④業務改善・教職員の働き方改革への職員の意識が変革しつつある。今後、生み出された時間の有効活用方法を探り、職員の魅力を一層伸長する。
2 学校教育目標	<b>みんなと確かに伸びる子どもの育成</b> ひびきあうあいさつ(体力・健康・生活の向上) がんばる勉強・読書(学力の向上) しっかり仕事(生き方・キャリア教育の推進) コミュニケーション(地域連携・仲間づくりの推進)
3 本年度の重点目標	①児童が主体的に学習や生活、学校行事等に関わる組織づくりと手立てを工夫し、児童の「知・徳・体」の向上を目指す。 ②ひがしっ子の合言葉のもと、児童・職員・保護者・地域が目標を共有し、連携を深めながら、児童の「知・徳・体」の向上を目指す。 ③キャリア教育推進のための手立てを確立し、児童の「志」の確立と自己有用感の向上を図る。 ④業務改善・教職員の働き方改革による、ゆとりある教育活動を推進する。

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1) 共通評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・学期ごとに校内学力向上研修会を行い、マイプランの計画・振り返りを行う。							前田(学力向上CO)
	○国語科を中心にしながら全教科で、自分の考えを書く活動を取り入れる。	○振り返りで、「自分の考えを相手に分かるように工夫して書くことができた」と肯定的な回答をする児童の割合が70%以上を目指す。	・授業の中で必ず1回は児童の書く活動を入れる。							原田(研究主任)
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童80%以上	・道徳や人権・同和教育の研修を協働して行い、授業実践を深める。 ・外部講師などを積極的に招き、児童に生き様を考えさせる。							松本(人権・同和担当)
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめ防止等)についての取り組み、事案対応等)について、組織的対応ができていると回答した教師85%以上	・日頃から児童の様子をしっかりと観察したり月1回のアンケートを実施し、その内容を管理職や教職員が共有したりして、早期発見早期対応に組織で取り組む。							梶山(生徒指導)
	●児童生徒の自己肯定感を高め、自己有用感の得られる環境の充実	○アンケートにおいて将来の夢や目標を持っているに肯定的な回答をした児童80%以上	・ソーシャルスキルトレーニングを活用し、他者とのより良い関係を築くことや自身を知る大切さを児童に身に付けさせる。 ・児童の情報を全職員で共有し、SCやSWとのスムーズな相談、面談につなげる。							原口(教育相談)
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童80%以上	①朝ラン5分、昼休み35分、放課後20分合計60分以上の運動を呼びかける。							岩部(体育主任)
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒80%以上	・給食指導に全職員で取り組み、マナーを守り、給食時間内完食を呼びかける。							原口(食育)
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務等時間の上限を遵守する。	・時間外勤務時間の自覚と定時退勤日を週1回以上設定。							教頭
	○ICT利活用推進	○授業でのICT利活用80%を目指す。	・電子黒板の活用の推進。一人一台タブレット端末の有効活用。							岩部(情報活用CO)

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○表現力の育成	○書く活動の充実	○作文等の作品募集に参加したと答えた児童が80%以上。	・児童が夏の読書感想文に全員取り組む。 ・児童が週に1回は日記を書く。 ・各種作品募集を紹介する。							原田(研究主任)
◎「志」を高める教育	◎自身の夢や将来のための身近な目標に対し、真剣に取り組む、成長しようとする姿勢を育てる。	◎夢や目標を持って、学習や行事等に取り組めた児童85%以上。	・学習や行事ごとにあての確認と振り返りを行い、児童が自分事として取り組むことができるようにする。							校長
○地域連携・地域を愛する人材育成	○PTAや地域と交流する活動への積極的な参加	○交流活動で地域のよさに気付き継続させようとした児童85%以上。	・松原保全活動や海洋教育バイオニアスクールプログラムを自分事として考えさせ、必要感を持たせる。							教頭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------